

奈良県立万葉文化館蔵

『薄葉本萬葉集』解題

阪口 由佳

【書誌情報】

（貴重書番号：ロ1）

〔体 裁〕写本 袋綴（四目綴） 五冊（一冊二巻綴）

〔表 紙〕横刷毛目（渋引） 直書き「萬葉集一（三〜六）」

〔料 紙〕薄様斐紙か

〔寸 法〕縦二七・〇cm 横十九・二cm

〔行数等〕八行十八字詰

〔書写年〕不明

〔蔵書印等〕全冊、表紙に㊦/13/1（〜5）のシール

全冊、見返しに①「檀原文庫」の印、②「檀原文庫蔵書印」

44810/第27187（〜27191）号」の印、③「911.12/13/1（〜

5）」の印

第一冊一ページに「巖松堂古典部／波多野扱斯書」の印

全冊、裏見返しに①「大和歴史館印」の印、②「館蔵39」の印、

枠外に「その1（〜5）」の手書きあり

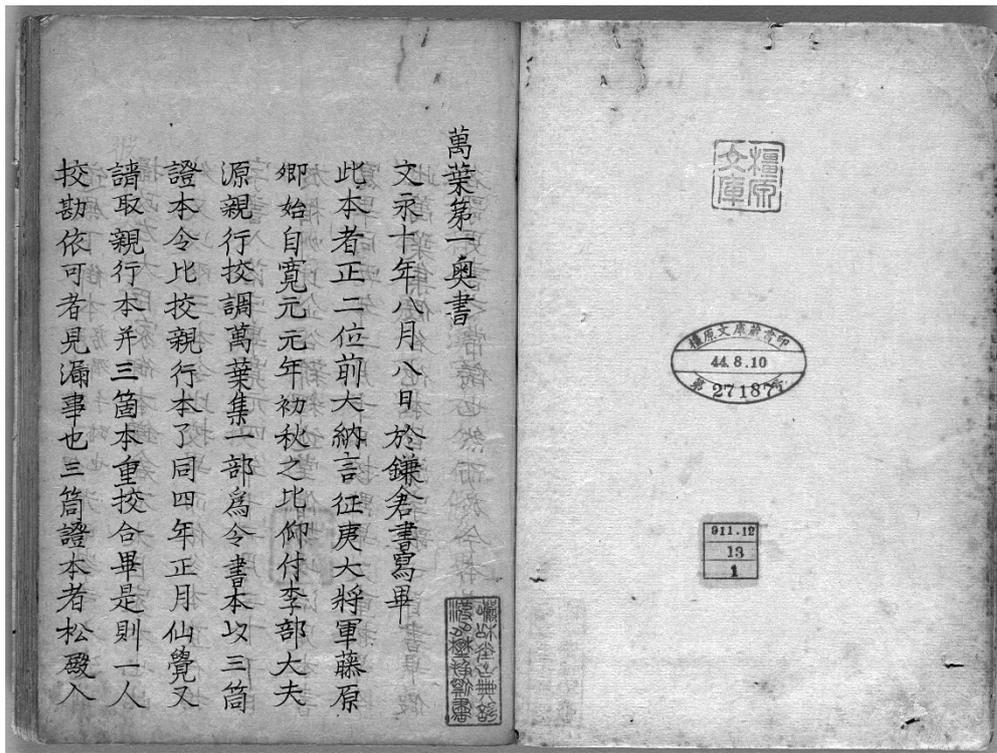
【解説】

裏が透けるような薄い紙に書かれた写本。奥書部分の所蔵なく、書写者、時期は不明。萬葉集二巻分につき一冊としたものである。本来十冊となるはずであるが、当館では一・三・四・五・六の五冊のみ所蔵している。寛永版本と同じく「萬葉第一奥書／文永十年八月八日：」から始まり、字配りも寛永版本と一致するが、版本ではなく写本である。

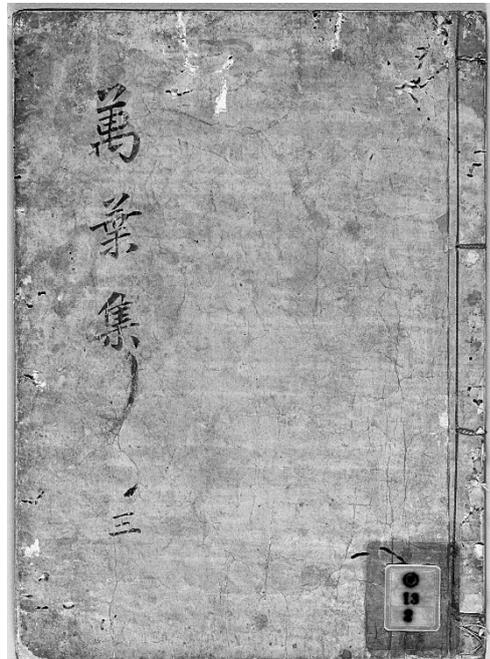
旧所蔵として、「萬葉集一」の一ページ目右下に、長方形単郭の「巖松堂古典部／波多野扱斯書」の印がある（【画像1】）。波多野重太郎が一九〇一年東京で開業した古書肆、巖松堂の印である。一九一九年より大阪支店も置いている（巖松堂出版株式会社ホームページ「会社の沿革」）。大和歴史館が巖松堂から購入したと推察するが、その際すでに「萬葉集二」は欠けていたようで、「萬葉集三」裏見返し、「大和歴史館印」「館蔵39」の印の下に「その2」と書かれている（【画像3】）。それを一九七〇年に引き継いだ檀原文庫においても、「萬葉集三」の枝番号は「2」である（【画像2】）。波多野重太郎がいつどのようにこれを入手したかは不明で、巖松堂に五冊以上あったかどうかもわからない。現在「萬葉集六」（巻十二）までしか所蔵がないため、最終巻の印や奥書を確認できない。

【画像1】「薄葉本萬葉集（奈良県立万葉文化館蔵）」

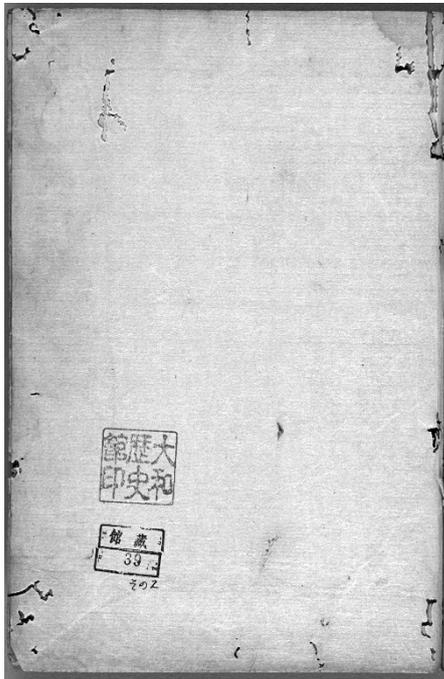
「萬葉集一」見返し 右に檀原文庫、左に巖松堂の印

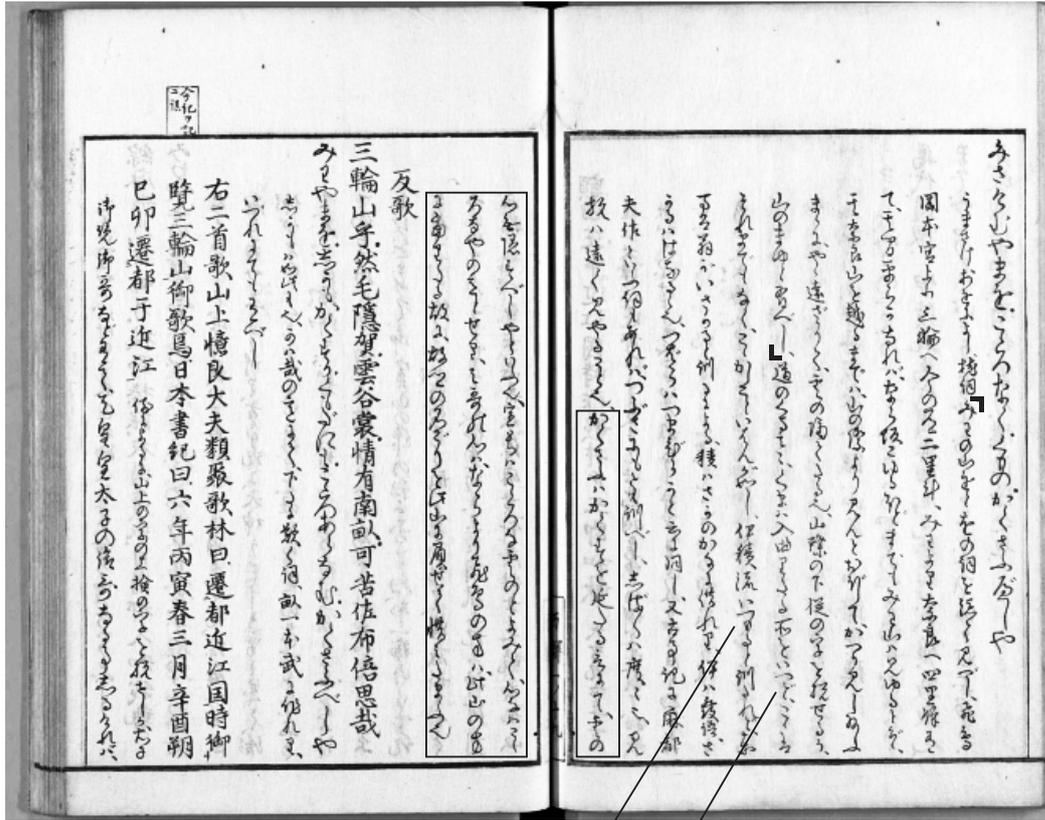


【画像2】「萬葉集三」表紙

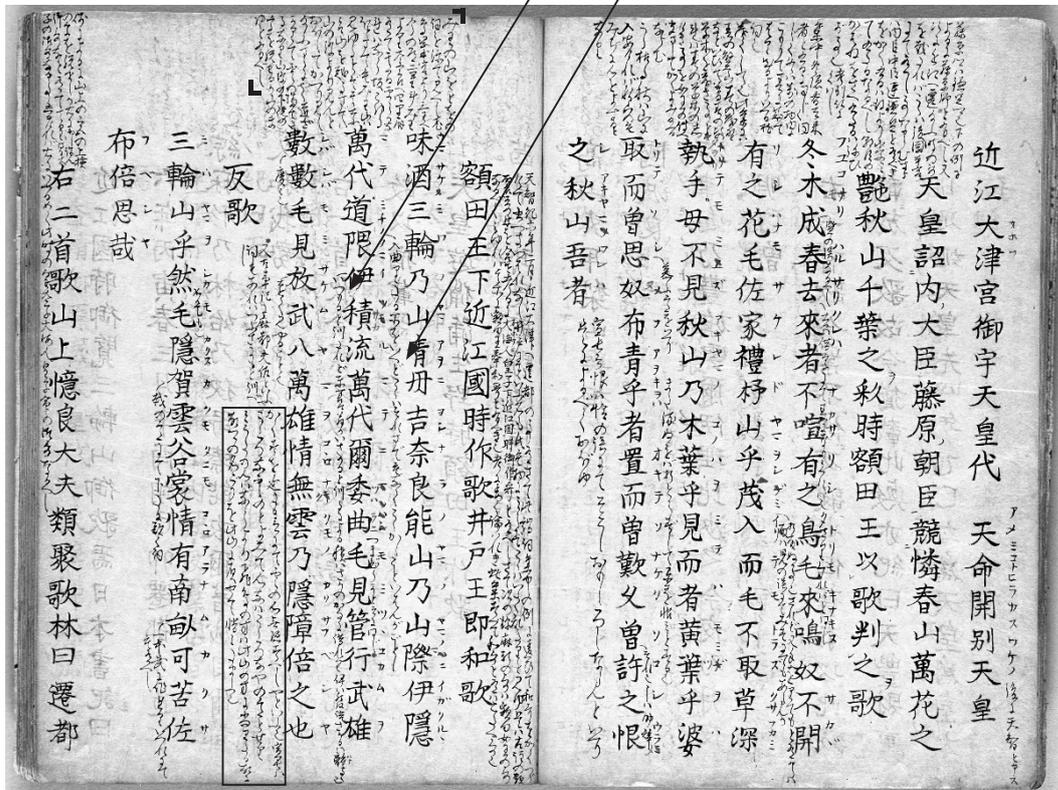


【画像3】「萬葉集三」裏見返し

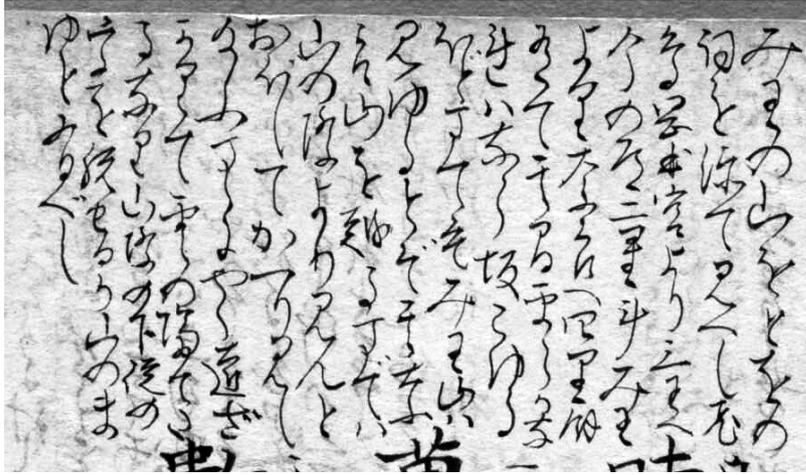




【画像4】『萬葉集略解』巻一（国立国会図書館デジタルコレクション）
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2570325>



【画像5】『薄葉本萬葉集』（奈良県立万葉文化館蔵）



前述のとおり、当館蔵『薄葉本萬葉集』（以下『薄葉本』）は版本に基づく写本であるが、おびただしい書き込みがある。その書入れ内容をくわしく見ると、ほぼ橘千蔭『萬葉集略解』（以下『略解』）に一致していることがわかった。^②たとえば、巻一・一六歌について、

【画像4】右丁の『略解』のカギカッコ部分「」は、【画像5】左丁の『薄葉本』の頭注のカギカッコ部分「」に写されている。

上の『薄葉本』頭注の拡大画像を見ると、「みわの山をとをの／詞を添て見へし 飛／鳥岡本宮より三輪へ／今の道二里斗 みわ／より奈良へ四里餘／有て 其間平らかな／れは なら坂こゆる／ほどまでもみわ山は／みゆるとぞ 其奈／良山を越るまでは／山の際より見んと／おほして かけり見し／給ふまゝにや、遠ざ／かりて 雲の隔

てた／るなり 山際の下従の／字を脱せるか 山のま／ゆと有べし」とあり、『略解』【画像4】の「」と比較すると、濁点や句点の有無に若干の違いはあるものの、同文とみてよい。『略解』の「」の上の注「うまさけ、あをによし、枕詞」は『薄葉本』に見当たらないが、「」以降の注釈はすべて歌の左右に書きこまれている。「道のくま」については『薄葉本』では歌の右、「伊積流」については『薄葉本』では歌の左にある。短めの注釈は傍注とし、長い注釈は上部など広めの余白があるところに書き入れている。

『略解』にある序や凡例は写しておらず、『略解』の巻末にある「追加」の注は反映されていないようである。版本と『萬葉集略解』を融合させた、独自の姿を呈している。

注

- (1) 大和歴史館（戦前は「大和国史館」）については、『万葉図書・情報室 だより』40号（奈良県立万葉文化館 二〇一四年十二月）、竹内亮「万葉文化」の血脈（連載「博物館って楽しい！」奈良県立万葉文化館）（『月刊奈良』61-2（通巻635）二〇二二年二月）参照。
- (2) 阪口由佳「奈良県立万葉文化館蔵『萬葉集卷第一』から見る加納諸平の万葉集研究」（『万葉古代学研究年報』第19号 二〇二二年三月）